



山田コンサルティンググループ株式会社

2014年3月期決算説明会

2014年5月13日(火)

山田コンサルティンググループ株式会社



1. 2014年3月期決算概要	3
●(1)山田コンサルティンググループ全体組織	4
●(2)通期決算のポイント	5
●(3)連結損益計算書概要	6
●(4)セグメント別損益状況	7
●(5-1)経営コンサルティング事業	8
●(5-2)不動産コンサルティング事業	9
●(5-3)資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	10
●(5-4)投資ファンド事業	11
●(5-5)FP関連事業	12
●(参考)コンサルティング事業の株式上場後14年間の売上高・営業利益推移 (FP関連事業、投資ファンド事業除く)	13
●(6)連結貸借対照表概要	14
●(7)連結キャッシュ・フロー計算書概要	15
2. 2015年3月期通期業績予想	16
●(1)2015年3月期 通期連結業績予想	17
●(2-1)2015年3月期の事業戦略① 投資ファンド事業、FP関連事業	18
●(2-2)2015年3月期の事業戦略② 経営コンサルティング事業	19
●(2-3)2015年3月期の事業戦略③ 不動産コンサルティング事業 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	20
●(3)リスク情報	21
(ご参考)山田コンサルティンググループ概要	22
●(1)山田コンサルティンググループの歩み	23
●(2)企業経営の理念	24
●(3)特色・強み	25
●(4-1～3)各企業の特色	26
●(5)連結業績の推移	29

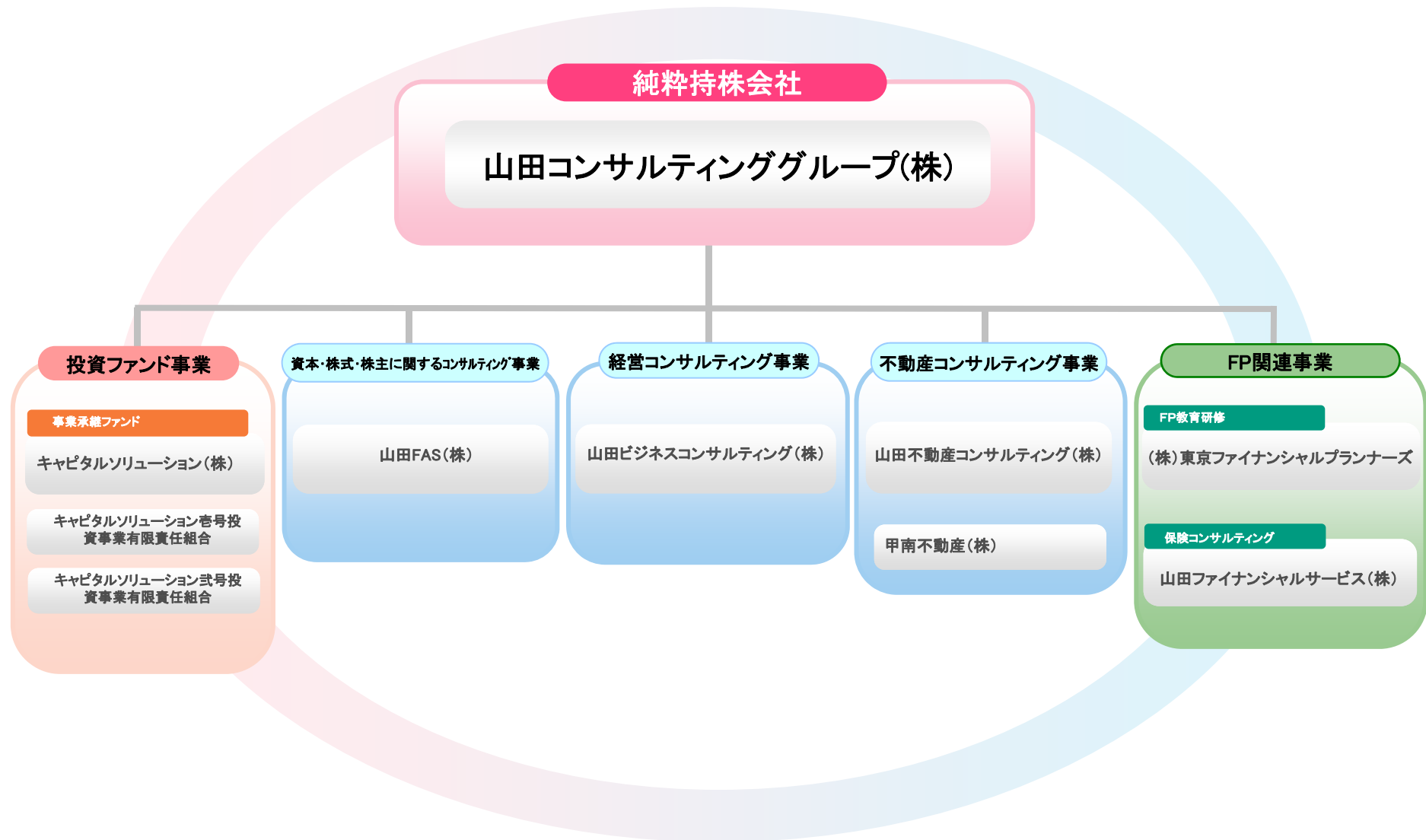


山田コンサルティンググループ株式会社

1. 2014年3月期決算概要



(1) 山田コンサルティンググループ全体組織





(2) 通期決算のポイント

総括

全事業が増収増益で順調な業績を確保

経営コンサルティング事業

事業再生、M&A支援、事業承継コンサル案件の受注が順調

不動産コンサルティング事業

案件受注件数の増加により計画通りの業績を確保

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

ファイナンシャルアドバイザー案件の受注が順調、大型案件の売上計上により増収増益

投資ファンド事業

事業承継ファンドでのキャピタルゲイン実現により営業利益確保

FP関連事業

確定拠出年金導入企業に対する研修受注が順調

(3) 連結損益計算書概要



山田コンサルティンググループ株式会社

単位:百万円	2013年3月期 (売上高比 %)	2014年3月期 (売上高比 %)	前期比	
			金額	比率(%)
売上高	6,766 (100.0)	7,751 (100.0)	984	114.5
売上原価	807 (11.9)	1,034 (13.3)	226	128.1
売上総利益	5,959 (88.1)	6,717 (86.7)	757	112.7
販管費	4,565 (67.5)	5,002 (64.6)	437	109.5
営業利益	1,394 (20.6)	1,714 (22.1)	320	122.9
経常利益	1,437 (21.2)	1,796 (23.2)	359	125.0
税引前利益	1,403 (20.7)	2,047 (26.4)	643	145.8
当期純利益	780 (11.5)	1,623 (20.9)	842	207.9

(4) セグメント別損益状況



山田コンサルティンググループ株式会社

【売上高】

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	前期比(%)
経営コンサルティング事業	4,935	5,478	110.9
不動産コンサルティング事業	517	588	113.7
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	675	891	131.9
投資ファンド事業	292	305	104.3
FP関連事業	513	626	121.9
消去又は全社	△167	△137	—
合 計	6,766	7,751	114.5

【営業利益】

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	前期比(%)
経営コンサルティング事業	1,097	1,194	108.8
不動産コンサルティング事業	121	129	106.7
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	135	212	156.6
投資ファンド事業	18	109	585.8
FP関連事業	19	65	342.6
消去又は全社	1	1	—
合 計	1,394	1,714	122.9

(5-1) 経営コンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社



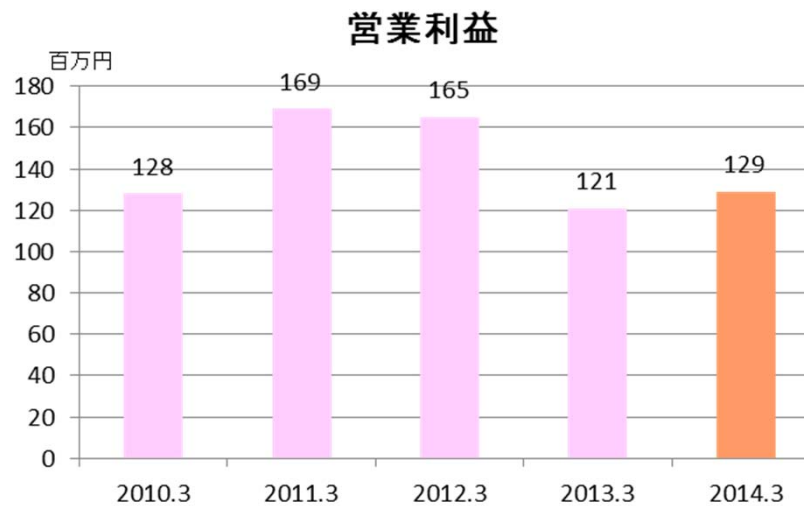
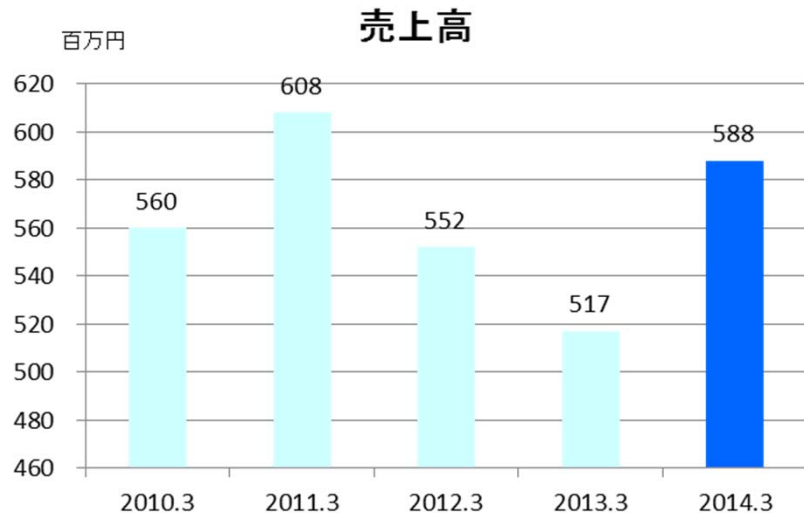
人員 247名 263名 286名 329名 371名

- 事業再生コンサルの案件受注が引き続き堅調
- M&A支援、事業承継コンサルの案件受注が順調
- 建設業、ホテル・旅館業、スーパー小売業、飲食、アパレル、医療・介護等分野において、専門コンサルとしての認知高まる

(5-2) 不動産コンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社



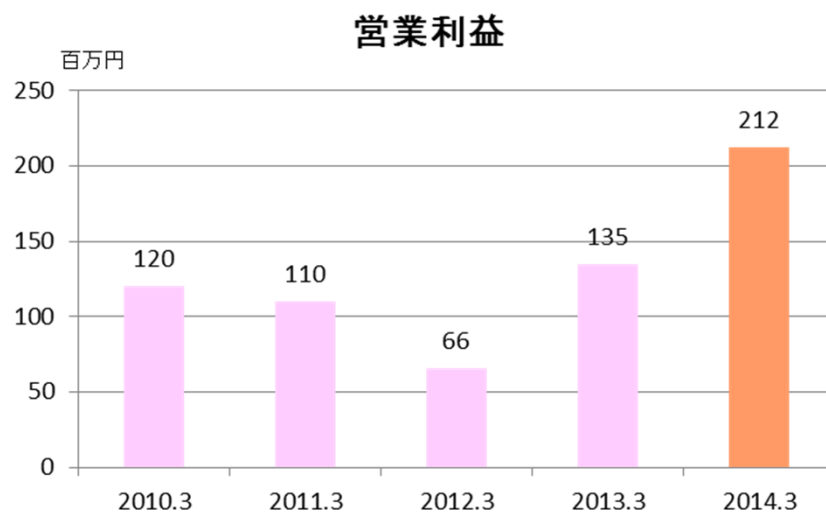
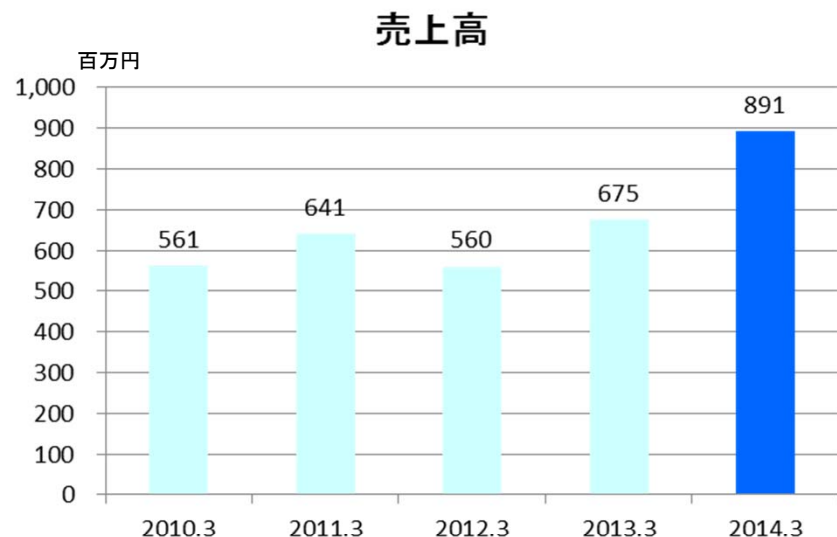
人員 12名 15名 15名 16名 19名

- 大型案件なしも案件受注件数の増加により計画通りの業績を確保
- 会計事務所へのアプローチ
大手会計事務所、地域密着型の会計事務所の新規開拓に注力
(2014年3月末提携数 247会計事務所)

(5-3) 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社



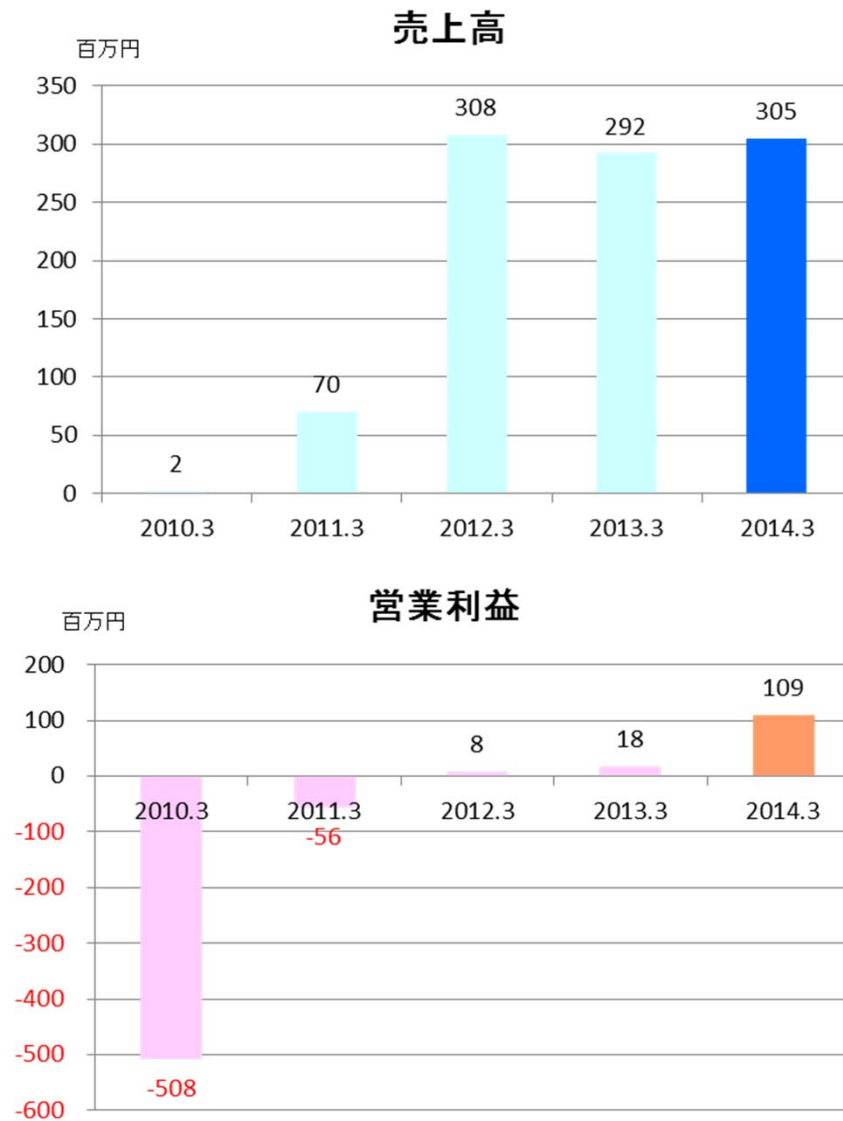
人員 33名 35名 37名 35名 43名

- ファイナンシャルアドバイザー業務、バリュエーション業務の案件受注は引き続き順調
- M&A仲介業務は計画未達も、大型の成功報酬コンサル案件の売上計上により増収増益

(5-4) 投資ファンド事業



山田コンサルティンググループ株式会社



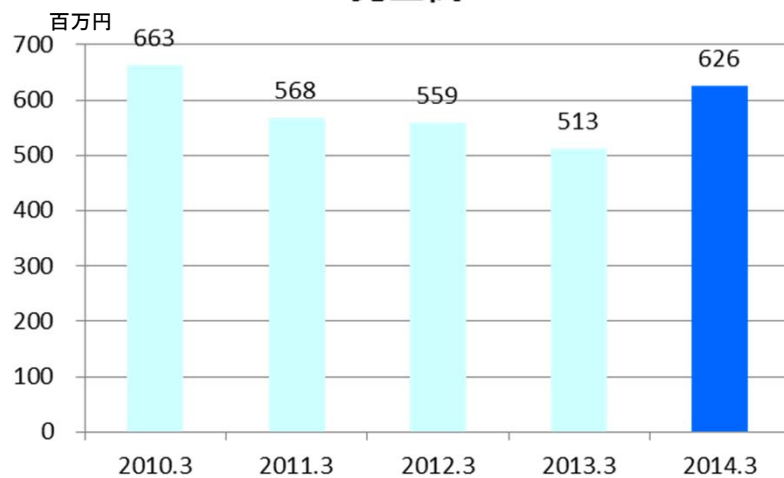
- 事業承継ファンドのキャピタルソリューション番号ファンドの投資先2社の株式売却により営業利益を確保
- キャピタルソリューション番号ファンド(総額10億円)は投資実行なし

(5-5)FP関連事業

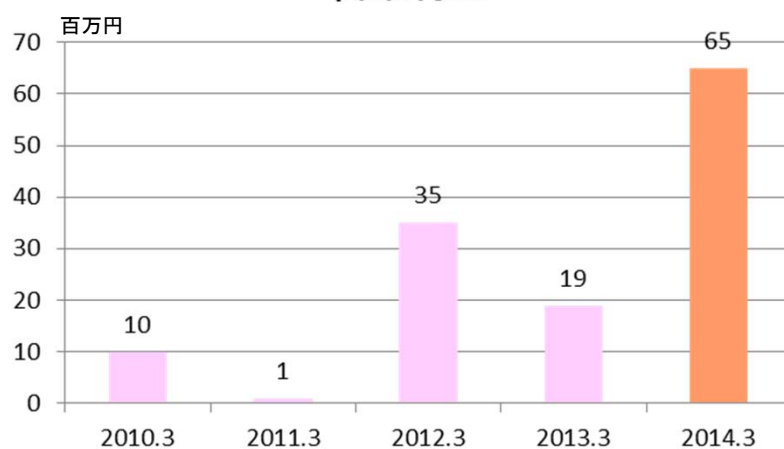


山田コンサルティンググループ株式会社

売上高



営業利益



人員 36名 32名 30名 29名 33名

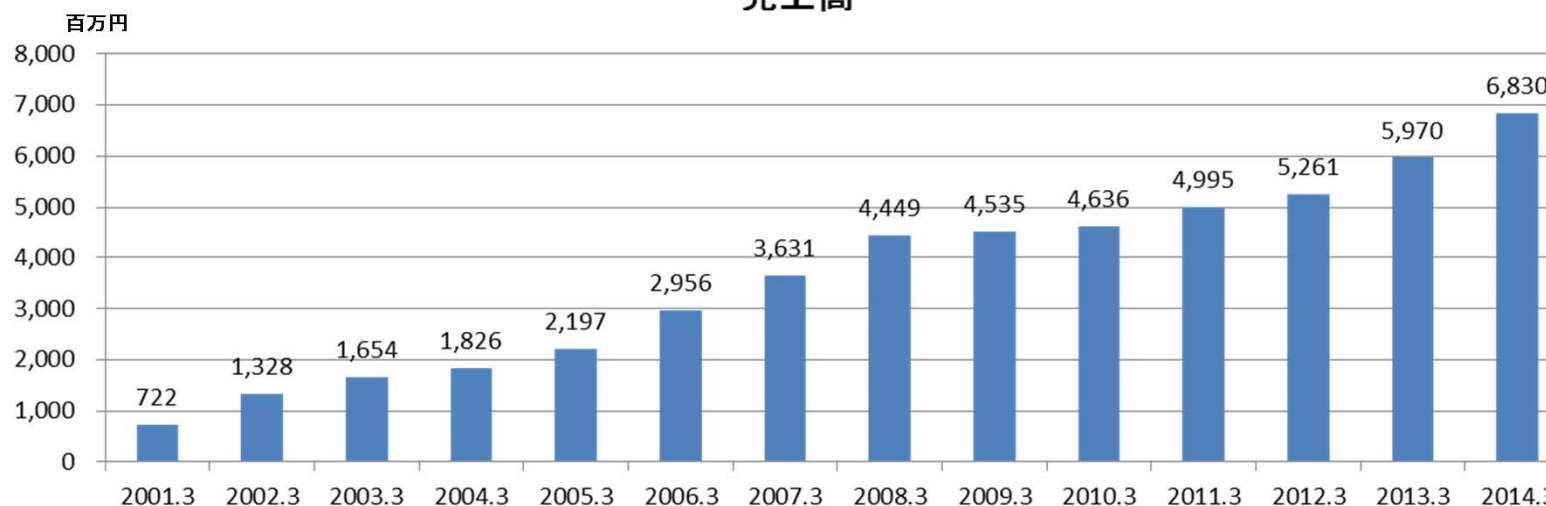
- 確定拠出年金(DC)導入企業に対するDC関連研修の実施回数的大幅増により増収増益
- 相続手続に関するサポート業務(相続あんしんサポート)は提携金融機関との強固な連携関係の構築に注力

(参考) コンサルティング事業の株式上場後14年間の売上高・営業利益推移 (FP関連事業及び投資ファンド事業除く)

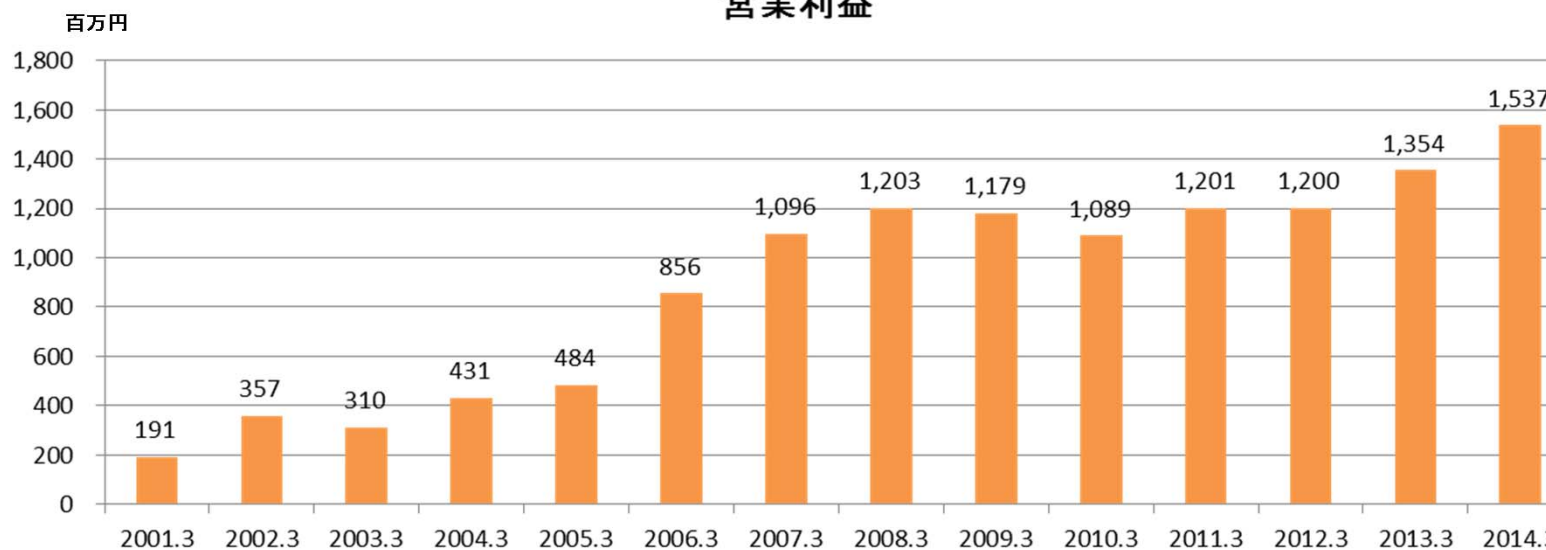


山田コンサルティンググループ株式会社

売上高



営業利益



(6) 連結貸借対照表概要



山田コンサルティンググループ株式会社

単位:百万円		2013年 3月期末	2014年 3月期末	増減額
資産の部	流動資産	4,561	5,811	1,250
	固定資産	3,104	2,621	△483
	有形固定資産	199	189	△10
	無形固定資産	22	23	0
	投資その他資産	2,881	2,408	△473
	繰延資産	2	1	△0
資産合計		7,668	8,434	766
負債の部	流動負債	1,426	977	△449
	固定負債	82	67	△15
	負債合計	1,509	1,044	△464
純資産の部	資本金	1,599	1,599	—
	資本剰余金及び利益剰余金	4,653	5,922	1,268
	自己株式及び自己株式申込証拠金	△231	△186	45
	株主資本合計	6,021	7,335	1,314
	その他の包括利益累計額	6	12	6
	新株予約権	12	5	△7
	少数株主持分	119	35	△83
	純資産合計	6,159	7,389	1,230
負債純資産合計		7,668	8,434	766

(7) 連結キャッシュ・フロー計算書概要



山田コンサルティンググループ株式会社

単位:百万円	2013年 3月期	2014年 3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	974	1,429	455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△552	△548	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△620	△819	△199
現金及び現金同等物の増減額	△196	62	259
現金及び現金同等物の期首残高	3,690	3,493	△196
現金及び現金同等物の期末残高	3,493	3,555	62



山田コンサルティンググループ株式会社

2. 2015年3月期通期業績予想



(1) 2015年3月期 通期連結業績予想

	2015年3月期 連結業績予想数値(百万円)	2014年3月期実績比(%)
売上高	8,000	103.2
営業利益	1,770	103.2
経常利益	1,800	100.1
当期純利益	1,080	66.5

	2015年3月期配当予定	2014年3月期配当
1株当たり年間配当額	90円 (第2四半期末45円、期末45円)	80円 (第2四半期末35円、期末45円)

- 経営コンサルティング事業は、引き続き順調な業績を確保できる見込み
- 不動産コンサルティング事業は、安定的な利益確保を目指す
- 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業及びF P関連事業は、前年度を上回る業績を目指す
- 投資ファンド事業は、現時点では投資株式のイグジットの見込みなし
- 年間配当金は、1株当たり10円増配予定

(2-1) 2015年3月期の事業戦略①



山田コンサルティンググループ株式会社

投資ファンド事業

＜事業承継ファンドのキャピタルソリューションファンド＞

- 壹号ファンドは残存投資先株式のイグジットを目指す(2014年3月末投資残高47百万円)
- 貳号ファンド(総額10億円)は、大手金融機関の協力のもと、慎重に投資案件を発掘

FP関連事業

- 法人マーケットでFP関連の研修ニーズが高まりつつあり
⇒オーダーメイド型の企業向け実務研修の拡販を積極的に行う
- 相続手続に関するサポート業務(相続あんしんサポート)を軌道に乗せるべく、引き続き提携金融機関との強固な連携関係の構築及び新規提携先の獲得に注力

(2-2) 2015年3月期の事業戦略②



経営コンサルティング事業

- 事業再生・事業承継を切り口としたM&A事業の本格事業化を目指す
⇒M&A部隊と事業承継部隊を統合し、M&A周辺コンサル体制を強化
- 持続的成長支援コンサル体制強化⇒事業・財務一体コンサル実施
- 大手金融機関に加え、地域金融機関、政府系金融機関、投資銀行、大手弁護士事務所、ファンドとの連携強化による確固たる営業基盤の構築
- 地方拠点展開の積極化
- シンガポール支店及び中国現地法人(上海市)を拠点として中国、アジア展開を推進
⇒上海政府系コンサル会社、上海会計事務所、中国大手弁護士事務所と業務提携
- ブランド向上への取り組み

(2-3) 2015年3月期の事業戦略③



山田コンサルティンググループ株式会社

不動産コンサルティング事業

- 提携会計事務所との連携強化に注力⇒収益機会の獲得へ
- 市況変化に応じた、物納コンサル、不動産有効活用コンサル等幅広いコンサルの提供
- 住宅の販売仲介業務、賃貸管理業務により、安定した利益確保を目指す
- 早期に事業的規模とすべく、積極的な増員等による事業基盤構築

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- 大手金融機関との営業ネットワークの強化による営業基盤の確立に引き続き注力
- 事業承継を切り口としたM&A関連業務を強力に拡大推進(金融機関紹介、独自開拓)
- 事業再編に伴うワンストップ型のFA業務、財務デューディリジェンス業務、バリュエーション業務を引き続き推進
- 優良企業オーナーの資産管理・事業承継アドバイザリー業務もワンストップ型で推進
⇒富裕層向けコンサルメニューの拡充



(3) リスク情報

経営コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

不動産コンサルティング事業

- 不動産市況の動向

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

投資ファンド事業

- 投資先企業の業績状況、株式評価、売却タイミングによる業績変動リスク

FP関連事業

- FP関連事業の商品構成・・・FP資格取得講座販売への依存度が高い
- 経済動向



山田コンサルティンググループ株式会社

(ご参考)山田コンサルティンググループ概要



(1) 山田コンサルティンググループの歩み

事業沿革		
1989年 7月	当社(旧株東京ファイナンシャルプランナーズ)設立	FP教育研修事業開始
1999年 7月	山田不動産コンサルティング(株)本格稼働	不動産コンサルティング事業開始
2000年 7月	山田ビジネスコンサルティング(株)本格稼働	経営コンサルティング事業開始
2000年 8月	キャピタルパートナー・一号ファンド組成(2008年12月清算)	ファンド総額11億円
2000年 10月	当社ナスダックジャパン(現JASDAQ)上場	
2001年 10月	TFPビジネスソリューション(株)設立(現 山田FAS(株)と合併)	上場支援コンサルティング事業開始
2002年 10月	当社(旧株東京ファイナンシャルプランナーズ)をTFPコンサルティンググループ(株)に商号変更し、純粋持株会社化	FP教育研修事業子会社(株)東京ファイナンシャルプランナーズ設立
2004年 12月	(株)オーナー企業総合研究所本格稼働(現 山田FAS(株)と合併)	オーナー企業、オーナー向けコンサルティング事業開始
2005年 3月	山田MTSキャピタル(株)設立(2013年12月 山田ビジネスコンサルティング(株)と合併) キャピタルパートナー・二号ファンド組成(2013年7月清算)	事業再生投資ファンド ファンド総額: 100億円
2007年 4月	山田FAS(株)設立	(株)TFP・Web、TFPビジネスソリューション(株)、(株)オーナー企業総合研究所の3社と経営統合・事業再編 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業
2008年 1月	キャピタルソリューション(株)設立 キャピタルソリューション壱号ファンド組成	事業承継投資ファンド ファンド総額: 21.6億円
2010年 12月	当社を「山田コンサルティンググループ(株)」に商号変更	
2012年 3月	キャピタルソリューション弐号ファンド組成	事業承継投資ファンド ファンド総額: 10億円

(2) 企業経営の理念



山田コンサルティンググループ株式会社

1. 健全な価値観 私たちは、信頼される人間集団として、健全な価値観を共有します。

健全な心、健全な価値観、を持ち維持し続ける組織だけが世の中に存在する意義があると信じ、我々は「健全な価値観」を最も重要な基本理念として位置付け保持し続ける。

何が健全であり何が健全でないかの基準をシンプルに示すことは難しいが、それは広く社会全体に肯定されるものでなければならず、悪や、小手先の小賢しい行動、自己の利益を追うために他を利用する行動等を心から嫌う価値観であり、個々の良心から湧き出る価値観である。我々が「健全な価値観」を失い、自己や我々の組織の利だけを計る行動をとるならば、その組織は即座に解体すべきである。

2. 社会貢献 私たちは、高付加価値情報を創造・提供し、顧客と社会の発展に貢献します。

顧客の成長・発展は我々にとって大きな喜びである。我々は、常に顧客の立場に立って物を考え専門サービスを提供し、顧客の発展に尽くす。

故に、グループメンバーは定式的形式的な役務提供だけでは決して満足せず、高度の専門知識と強い責任感を持って顧客に対しアドバイスし、役務提供を行い、もって顧客の発展ひいては社会発展に貢献するものである。常に発展する又は前進する意欲を持った顧客(企業)は我々にとって大切な仲間である。

3. 個と組織の成長 私たちは、個と組織の成長と調和をめざし高い目標を掲げる個を尊重します。

個人の成長と組織の成長は相互に強く貢献し合う。故に、社会性、大人性の備わった高い目標を掲げ、その目標実現に向けて努力する個人とその個性を尊重し、その個人の成長をともに喜ぶ。また、仕事は重要なものではあるが、個々の人生にとっては最終目標ではないのであるから、我々の組織は常に個と組織の調和を実現目標とする。

個を尊重し、個の成長を実現する為には組織とともに成長しなければならない。故に我々は組織自体の成長も重要な目的と認識する。

(3) 特色・強み



強固な顧客基盤と充実したサービス内容

- 大手金融機関・地域金融機関を中心とした有力金融機関との強い結びつきによる数多くの顧客を保有
- 事業再生から成長・拡大・事業承継に至るまでの多様なサービスをワンストップで提供

現場主義によるサービスを実践

- 現場に深く関わることによって、精度の高いサービスを提供
- 顧客からの信頼獲得により、良好な関係を継続

多彩な人材によるサービス提供

- 公認会計士・税理士といった会計人のみならず、様々な分野・現場で実戦経験のある人材によるサービスを提供
- 多様なコンサルティングニーズに対応するため、金融機関経験者、メーカー勤務経験者等の中途採用に加えて、様々な専門知識をもった多数の社員が在籍

(4-1) 各企業の特徴①



山田コンサルティンググループ株式会社

【コンサルティング事業】

山田ビジネスコンサルティング株式会社

- 中堅・中小企業のあらゆる経営課題を解決するコンサル集団
- 大手金融機関・地域金融機関を中心とした金融機関に対する信用力
 - 中堅・中小企業に対するコンサルティング実績に基づく金融機関とのつながり
- 現場主義、独立系、中立系
 - 現場主義による実行力にこだわったコンサルティングサービスの提供
- 事業再生(B/S)コンサルから事業価値増大(P/L)コンサルへ
 - 財務コンサルティング(B/S)中心から、積極的に業務収益の改善を支援・実行する事業価値の向上を目的とする(P/L)コンサルティングへ

(4-2) 各企業の特徴②



山田コンサルティンググループ株式会社

山田不動産コンサルティング株式会社

- 各分野の専門家とプロジェクトチームを結成し、最良な不動産処分・購入・投資・活用などの提案から確実な不動産取引の実現をサポート
 - 資産分析
 - 不動産有効活用
 - 相続・事業承継対策
 - 物納サポート
 - 不動産仲介
 - 賃貸管理システム

山田FAS株式会社

- M&Aアドバイザー業務、資本政策実行のためのバリュエーションサービス、財務デューデリジェンス業務をワンストップで提供
- 経営・財務等の状況を踏まえた総合的観点から、オーナー経営者のニーズに応じた相続・事業承継に関するコンサルティングサービスを提供
- オーナー企業に対して、資本・財務に関するコンサルティングサービス(資本政策、M&A、バイアウト、組織再編等)を提供

(4-3) 各企業の特徴③



山田コンサルティンググループ株式会社

【投資ファンド事業】

キャピタルソリューション株式会社

- 事業承継コンサルティングの一環としての『事業継承』ファンド

- ファンド組成実績

- ① 2008年4月 第壹号ファンド…ファンド内容: 事業承継コンサルティングの一環としての機能6社投資(2014年3月末現在 投資先残数2社)
投資規模21.6億円 投資期間8年
- ② 2012年3月 第貳号ファンド…ファンド内容: 事業承継コンサルティングの一環としての機能
投資規模10.0億円 投資期間8年

【FP関連事業】

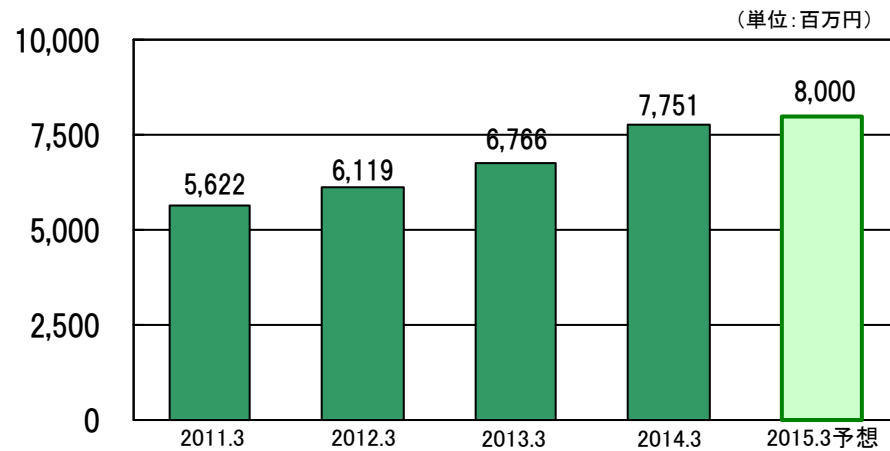
株式会社東京ファイナンシャルプランナーズ

- ファイナンシャルプランナー(FP)教育研修の先駆者
- 法人向けのファイナンシャルプランニング実務研修にも強み
 - 各企業の実務に沿ったオーダーメイド型のファイナンシャルプランニング実務研修を実施
 - グループカ、蓄積してきたノウハウ・ネットワーク
 - FP教育研修
 - FP支援
 - 確定拠出年金(DC)加入者教育・継続教育
 - 相続手続に関するサポート業務(相続あんしんサポート)

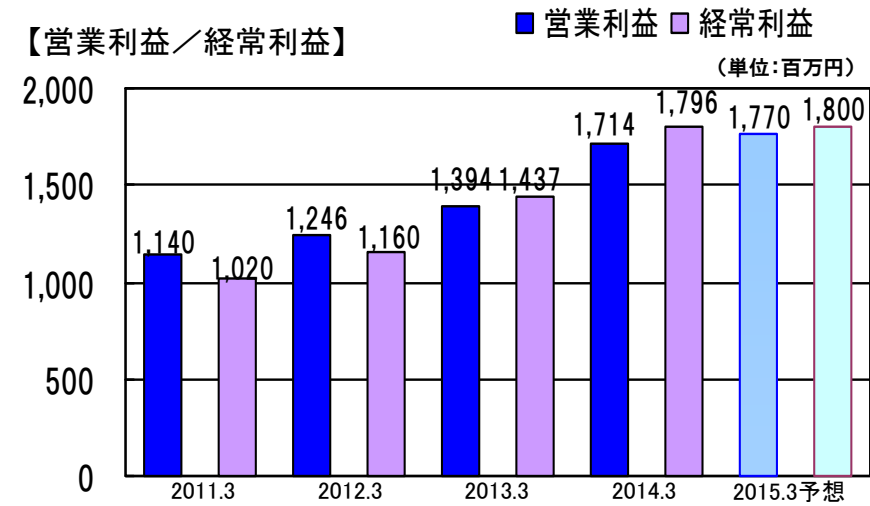


(5) 連結業績の推移

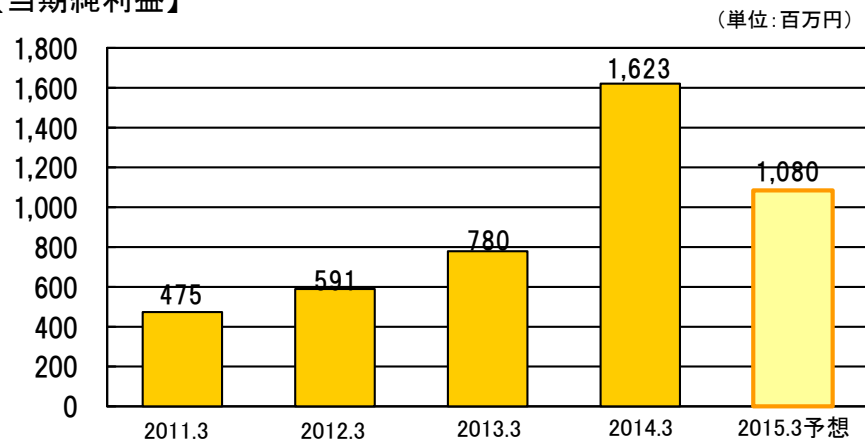
【売上高】



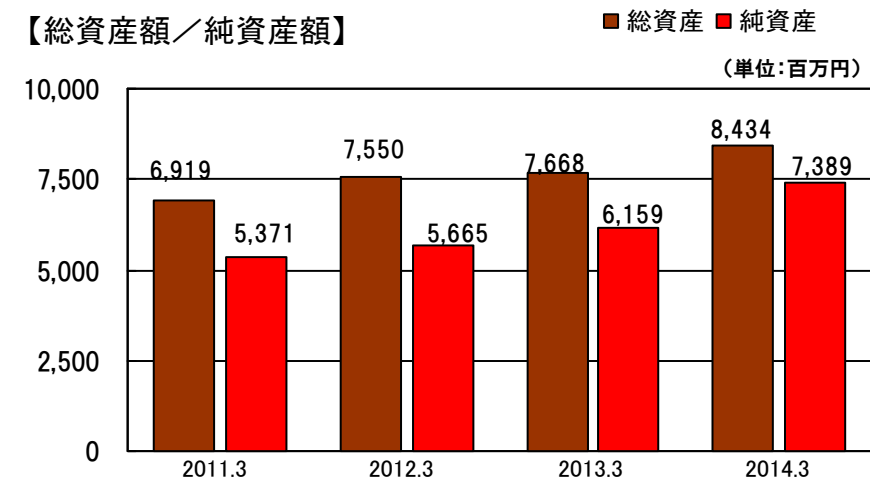
【営業利益／経常利益】



【当期純利益】



【総資産額／純資産額】





山田コンサルティンググループ株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知置き下さい。